

# 川上昌裕と仲間たち vol. 1

M. Kawakami and Friends

## A ROAD TO KAPUSTIN

—カプースチンへの誘い—



〈フォーレ〉

ピアノ四重奏曲 第1番 ハ短調 Op.15 より 第1楽章

〈シューマン〉

ピアノ五重奏曲 変ホ長調 Op.44

〈カプースチン〉

ヴァイオリン・ソナタ Op.70 より

ヴィオラ・ソナタ Op.69 より

チェロ・ソナタ 第2番 Op.84 より

ピアノ五重奏曲 Op.89

(プログラムは予告なく変更する場合がございます。)



川上 昌裕  
(ピアノ)



鎌田 成光  
(ヴァイオリン)



肥田 与幸  
(ヴァイオリン)



渡邊 千春  
(ヴィオラ)



唐沢 安岐奈  
(チェロ)

2014年7月21日 月・祝 14:00 開演  
(13:30 開場)

トッパンホール

江戸川橋駅より徒歩8分/後楽園駅より徒歩10分  
飯田橋駅より徒歩13分

【入場料】 全席自由 一般 ¥4,500 トッパンホールクラブ会員優待\* ¥4,000 学生 ¥3,000 (いずれも税込)

\*トッパンホールクラブ会員の優待割引は、トッパンホールチケットセンターのみの取扱いとなります。  
未就学児の入場は、恐縮ですがお断り申し上げます。

【チケット販売】

JK arts (ジェイケイ・アーツ) <http://jk-arts.net/concert.html>

トッパンホール チケットセンター <http://www.toppanhall.com> ☎ 03-5840-2222 (平日10~18時)

カンフェティ <http://www.confetti-web.com> ☎ 0120-240-540 (平日10~18時)

【主催】「川上昌裕と仲間たち」シリーズ実行委員会

【後援】(公財)読売日本交響楽団 <http://yomikyo.or.jp/> / 日本カプースチン協会 <http://www.kapustin.jp/>

【マネジメント・お問い合わせ】JK arts (ジェイケイ・アーツ)

<http://jk-arts.net> ☎ info@jk-arts.net ☎ 045-515-3114



世紀の変わり目あたりからにわかに知られるようになった作曲家カプースチン。今や実力ある若手のピアニストたちはこぞって世界のあちこちのコンクールやコンサートで取り上げるようになり、CD録音や映像の類も多数に上ります。

これまで注目を浴びてきた作品はいくつかのポピュラーなピアノソロ作品に集中していましたが、彼の作曲ジャンルはピアノ曲、コンチェルト、ビッグバンドを含む曲、室内楽曲など多様です。特に室内楽作品はあらゆる

楽器のために数多く書かれており、彼の全作品の中でも重要な位置を占めています。しかし、その演奏機会はまだ極めて少ないのが現状です。私自身がカプースチンという作曲家に目覚めたのは、実は彼のいくつかの室内楽作品に触れたことがきっかけでした。このカプースチンの新たな世界を少しずつ紐解いていく楽しみを、ぜひ多くの聴衆の方々と共有していきたいと思っています。

カプースチンに新たな光を与えるというコンセプトで立ち上がったこのシリーズでは、これまでの伝統的な室内楽レパートリーとカプースチン作品を並列させたプログラムを軸にしていきたいと思っています。皆さんと一緒に、未知の、心とぎめく体験を共有できることを楽しみにしています。

川上 昌裕

ニコライ・カプースチン(Nikolai Kapustin, 1937年生)は、ウクライナの作曲家・ピアニスト。7歳でピアノを始め、モスクワ音楽院でゴリデンヴェイゼルにピアノを師事する。在学中にジャズに興味を持ち始め、作曲活動を開始。卒業後ジャズ・オーケストラとの共演を重ねる。しかし1980年代に入ると作曲活動に重きを置き、今年2月までにその作品番号は154に達したが、今なお増え続けている。彼の作風の最大の特色はジャズの語法をクラシック音楽の形式に取り込んだ点にある。それは実験的なものではなく、語法を完全に自らのものとした上で新たな様式を生み出した。特にピアノの演奏技術を大きく拡大したが、それは本人が優れたピアニストであることと無縁ではないだろう。日本国内でも今世紀になってから日本語版の楽譜が多数出版され、ピアニストを中心に多くの演奏家が彼の作品を取り上げている。



■ 川上 昌裕 Masahiro Kawakami — Piano

東京音楽大学ピアノ演奏家コースおよびウィーン市立音楽院を首席で卒業。マリア・カナルス国際コンクール上位入賞。NHK「FMリサイタル」、「名曲リサイタル」、「名曲アルバム」などテレビラジオの放送出演多数。特にロシアの作曲家・メトネルやカプースチンを紹介して世界でも高い評価を受けている。

カプースチン作品の演奏では、2006年に東京で世界初のオール・カプースチン・リサイタルを行ない、その後ピアノ協奏曲第4番の日本初演、ピアノ協奏曲第6番の世界初演を果たしている。またカプースチンと直接に親交を持ち、2曲のピアノ曲(作品137,138)を献呈されている他、「カプースチンピアノ作品集」(Vol.1~3)、「カプースチンピアノ室内楽集①」などのCDや、校訂出版したカプースチンの楽譜も多数に上る。現在、東京音楽大学准教授。

■ 鎌田 成光 Narumi Kamata — Violin

相愛高校音楽科を経て、相愛音楽大学音楽学部卒業。東京芸術大学大学院修士課程修了。大学在学中に「斎藤秀雄奨学金」を2度授与される。第34回全日本学生音楽コンクール西日本大会第2位。1988年ひょうご音楽コンクール弦楽部門第2位。第21回民室内楽コンクール第一部門入選。読売新聞社、関西音楽協会主催等の新人演奏会に出演。読売日本交響楽団団員。1999年に読売団員でリュミエール弦楽四重奏団を結成。リュミエール弦楽四重奏団を主宰し、所属する読響だけでなく室内楽演奏会も積極的に行っている。ヴァイオリンを磯野寿子、東儀幸、故吉永清子、久合田緑、澤和樹、ベラ・カーナの各氏に、室内楽を久合田緑、生沼晴嗣の各氏に師事。

■ 肥田 与幸 Tomoyuki Hida — Violin

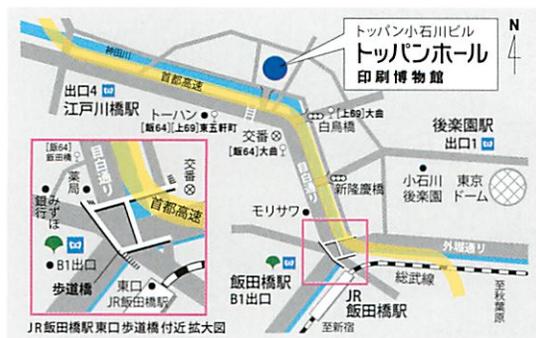
鈴木メソッドにてヴァイオリンを始める。国立音楽大学付属音楽高校卒業。東京音楽大学卒業。桐朋学園大学研究科修了。神奈川県新人演奏会に出演。イタリアピエディルコ音楽祭出演。蓼科音楽祭にてジョイントフレッシュコンサート出演。JTアフィニス音楽祭、アンサンプルシリーズに出演。これまでに村上豊・中村幾代・浦川宜也・瀬戸瑠子・吉川朝子・藤原英雄の各氏に師事。現在読売日本交響楽団団員。

■ 渡邊 千春 Chiharu Watanabe — Viola

熊本市出身。東京藝術大学卒業。卒業時に同声会賞を受賞する。ロームミュージックファンデーションの奨学金を受けアントワープ王立音楽院に留学。同大学を首席で卒業。第25回全九州高等学校音楽コンクール弦楽器部門グランプリ受賞。第2回東京音楽コンクール弦楽器部門第3位。第42回マルクノイキルヘン国際コンクールヴィオラ部門ディプロマ受賞。第1回奈次ホール弦楽四重奏コンクール第2位。08年在ベルギー日本大使館、2013年熊本にてリサイタルを開催。これまでにヴァイオリンを広瀬大喜、鶴和美の各氏に、ヴィオラを市坪俊彦、平石謙二、菅沼準二、Claude Lelong, Leo De Neveの各氏に師事。2009年より読売日本交響楽団ヴィオラ奏者。

■ 唐沢 安岐奈 Akina Karasawa — Cello

名古屋市立菊里高校音楽科、東京藝術大学を経て、同大学院修了。ハンガリー国立リスト音楽院留学。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。1990年福島賞受賞。1991年現代音楽室内楽コンクール第1位、ならびに朝日現音賞受賞。1992年東京国際音楽コンクール室内楽部門第2位、ならびにルフトハンザ賞受賞。1996年第66回日本音楽コンクール入選。1999、02年には東京・名古屋にてソロリサイタルを開く。2009年文化庁主催「明日を担う演奏家達」にて東京交響楽団とブラームスのドッベルコンチェルトを共演。全国でソロ・室内楽等で活躍中。これまでに故堀江泰、三木敬之、林良一、D・シャフラン、C・オンチャイ、H・シュティラーの各師に師事。現在、読売日本交響楽団チェロ奏者。



川上昌裕と仲間たち vol.2 は  
2015年6月21日(日)@ヤマハホールの予定です。

交通のご案内

- 江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
  - 飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
  - 後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
  - 都営バス [上69][飯64]「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分
- ※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トッパンホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515  
E-mail:info@toppanhall.com http://www.toppanhall.com/